

令和3年版厚生労働白書 正誤表

「令和3年版厚生労働白書」において、掲載内容に誤りがございました。ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

なお、HP上に掲載されている内容につきましては、修正が反映されております。

頁	該当箇所	修正内容	
		誤	正
資料編 11頁	死亡数の推移	2020年の数値 <u>1,414,251人</u>	2020年の数値 <u>1,372,648人</u>
資料編 64頁	詳細データ⑦	 <p>総数</p> <p>男性</p> <p>女性</p>	 <p>総数</p> <p>男性</p> <p>女性</p>

頁	該当箇所	修正内容	
		誤	正
資料編 131頁	詳細データ③		

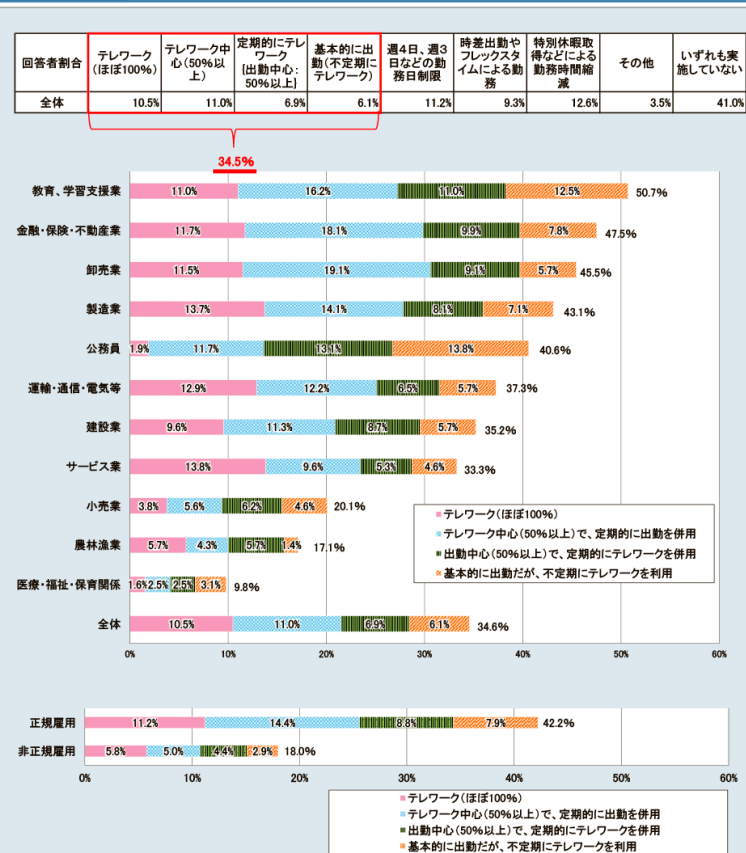
令和3年版厚生労働白書 正誤表

「令和３年版厚生労働白書」において、掲載内容に誤りがございました。ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

なお、HP 上に掲載されている内容につきましては、修正が反映されております。

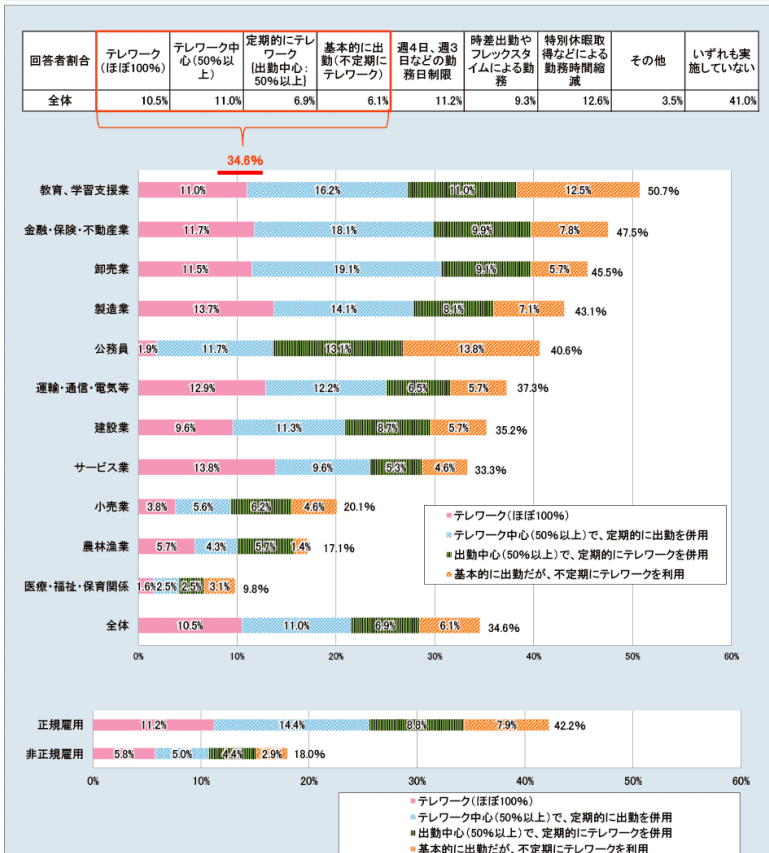
頁	該当箇所	修正内容																	
		誤								正									
概要 6 頁	左上 図表	全体の状況									全体の状況								
		テレワーク (ほぼ 100%)	テレワーク 中心 (50% 以上)	定期的に テレワーク (出勤中心： 50%以上)	基本的に 出勤 (不定 期にテレ ワーク)	週 4 日、週 3 日などの 勤務日制限	時差出勤や フレックス タイムによ る勤務	特別休暇取 得などによ る勤務時間 縮減	その他	いずれも実 施していな い	テレワーク (ほぼ 100%)	テレワーク 中心 (50% 以上)	定期的に テレワーク (出勤中心： 50%以上)	基本的に 出勤 (不定 期にテレ ワーク)	週 4 日、週 3 日などの 勤務日制限	時差出勤や フレックス タイムによ る勤務	特別休暇取 得などによ る勤務時間 縮減	その他	いずれも実 施していな い
		10.5%	11.0%	6.9%	6.1%	11.2%	9.3%	12.6%	3.5%	41.0%	10.5%	11.0%	6.9%	6.1%	11.2%	9.3%	12.6%	3.5%	41.0%
		34.5%								34.6%									
概要 16 頁	表中 ドイツ の欄	ドイツ																	
		住居関係	●家賃支払いへの支援（失業給付Ⅱの緩和） 実際の家賃と暖房費を全額支給 ●立ち退き猶予 ・家賃滞納を理由とした立ち退き要請禁止 ・2020 4～6 月の家賃は 2 年間支払い猶予																
		ドイツ																	
		住居関係	●家賃支払いへの支援（失業給付Ⅱの緩和） 実際の家賃と暖房費を全額支給 ●立ち退き猶予 ・家賃滞納を理由とした立ち退き要請禁止 ・2020 年 4～6 月の家賃は 2 年間支払い猶予																

図表 1-1-2-1 テレワークの実施状況（業種別、雇用形態別）



資料：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(2020年6月21日)

図表 1-1-2-1 テレワークの実施状況（業種別、雇用形態別）



資料：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(2020年6月21日)

頁	該当箇所	修正内容																																																																									
		誤	正																																																																								
資料編 15頁	詳細データ① 労働力の推移	<div>詳細データ① 労働力人口の推移</div> <table><tr><th>年齢区分</th><th>1990年 (平成2年)</th><th>2000年 (平成12年)</th><th>2020年 (令和2年)</th><th>2025年 (令和7年)</th><th>2040年 (令和12年)</th></tr><tr><td>15～29歳</td><td>1,475 (23.1)</td><td>1,588 (23.5)</td><td>1,157 (16.8)</td><td>1,060 (15.9)</td><td>893 (14.4)</td></tr><tr><td>30～59歳</td><td>4,177 (65.4)</td><td>4,260 (63.0)</td><td>4,245 (61.8)</td><td>4,166 (62.4)</td><td>3,417 (55.2)</td></tr><tr><td>60～64歳</td><td>372 (5.8)</td><td>426 (6.3)</td><td>544 (7.9)</td><td>574 (8.6)</td><td>656 (10.6)</td></tr><tr><td>65歳以上</td><td>360 (5.6)</td><td>494 (7.3)</td><td>922 (13.4)</td><td>874 (13.1)</td><td>1,174 (19.0)</td></tr><tr><td>合計</td><td>6,384</td><td>6,766</td><td>6,868</td><td>6,673</td><td>6,195</td></tr></table> <p>資料：1990、2000、2020年は総務省統計局「労働力調査」、2025年、2040年はJILPT（独）労働政策研究・研修機構「平成30年 労働力需給の推計」。</p> <p>(注) 1. ()内は構成比 2. 表章単位未満の位で四捨五入してあるため、各年齢区分の合計と年齢計とは必ずしも一致しない。 3. 2025年、2040年の推計値は、経済成長と労働参加が適切に進むケース（「未来投資戦略」を踏まえた高成長が実現し、かつ労働市場の参加が進むケース）。 4. 当該推計値は、「労働力調査」の2017年までの実績値を踏まえて推計しているので留意されたい。</p>	年齢区分	1990年 (平成2年)	2000年 (平成12年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2040年 (令和12年)	15～29歳	1,475 (23.1)	1,588 (23.5)	1,157 (16.8)	1,060 (15.9)	893 (14.4)	30～59歳	4,177 (65.4)	4,260 (63.0)	4,245 (61.8)	4,166 (62.4)	3,417 (55.2)	60～64歳	372 (5.8)	426 (6.3)	544 (7.9)	574 (8.6)	656 (10.6)	65歳以上	360 (5.6)	494 (7.3)	922 (13.4)	874 (13.1)	1,174 (19.0)	合計	6,384	6,766	6,868	6,673	6,195	<div>詳細データ① 労働力人口の推移</div> <table><tr><th>年齢区分</th><th>1990年 (平成2年)</th><th>2000年 (平成12年)</th><th>2020年 (令和2年)</th><th>2025年 (令和7年)</th><th>2040年 (令和22年)</th></tr><tr><td>15～29歳</td><td>1,475 (23.1)</td><td>1,588 (23.5)</td><td>1,157 (16.8)</td><td>1,060 (15.9)</td><td>893 (14.4)</td></tr><tr><td>30～59歳</td><td>4,177 (65.4)</td><td>4,260 (63.0)</td><td>4,245 (61.8)</td><td>4,166 (62.4)</td><td>3,417 (55.2)</td></tr><tr><td>60～64歳</td><td>372 (5.8)</td><td>426 (6.3)</td><td>544 (7.9)</td><td>574 (8.6)</td><td>656 (10.6)</td></tr><tr><td>65歳以上</td><td>360 (5.6)</td><td>494 (7.3)</td><td>922 (13.4)</td><td>874 (13.1)</td><td>1,174 (19.0)</td></tr><tr><td>合計</td><td>6,384</td><td>6,766</td><td>6,868</td><td>6,673</td><td>6,195</td></tr></table> <p>資料：1990、2000、2020年は総務省統計局「労働力調査」、2025年、2040年はJILPT（独）労働政策研究・研修機構「平成30年 労働力需給の推計」。</p> <p>(注) 1. ()内は構成比 2. 表章単位未満の位で四捨五入してあるため、各年齢区分の合計と年齢計とは必ずしも一致しない。 3. 2025年、2040年の推計値は、経済成長と労働参加が適切に進むケース（「未来投資戦略」を踏まえた高成長が実現し、かつ労働市場の参加が進むケース）。 4. 当該推計値は、「労働力調査」の2017年までの実績値を踏まえて推計しているので留意されたい。</p>	年齢区分	1990年 (平成2年)	2000年 (平成12年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2040年 (令和22年)	15～29歳	1,475 (23.1)	1,588 (23.5)	1,157 (16.8)	1,060 (15.9)	893 (14.4)	30～59歳	4,177 (65.4)	4,260 (63.0)	4,245 (61.8)	4,166 (62.4)	3,417 (55.2)	60～64歳	372 (5.8)	426 (6.3)	544 (7.9)	574 (8.6)	656 (10.6)	65歳以上	360 (5.6)	494 (7.3)	922 (13.4)	874 (13.1)	1,174 (19.0)	合計	6,384	6,766	6,868	6,673	6,195
		年齢区分	1990年 (平成2年)	2000年 (平成12年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2040年 (令和12年)																																																																				
15～29歳	1,475 (23.1)	1,588 (23.5)	1,157 (16.8)	1,060 (15.9)	893 (14.4)																																																																						
30～59歳	4,177 (65.4)	4,260 (63.0)	4,245 (61.8)	4,166 (62.4)	3,417 (55.2)																																																																						
60～64歳	372 (5.8)	426 (6.3)	544 (7.9)	574 (8.6)	656 (10.6)																																																																						
65歳以上	360 (5.6)	494 (7.3)	922 (13.4)	874 (13.1)	1,174 (19.0)																																																																						
合計	6,384	6,766	6,868	6,673	6,195																																																																						
年齢区分	1990年 (平成2年)	2000年 (平成12年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2040年 (令和22年)																																																																						
15～29歳	1,475 (23.1)	1,588 (23.5)	1,157 (16.8)	1,060 (15.9)	893 (14.4)																																																																						
30～59歳	4,177 (65.4)	4,260 (63.0)	4,245 (61.8)	4,166 (62.4)	3,417 (55.2)																																																																						
60～64歳	372 (5.8)	426 (6.3)	544 (7.9)	574 (8.6)	656 (10.6)																																																																						
65歳以上	360 (5.6)	494 (7.3)	922 (13.4)	874 (13.1)	1,174 (19.0)																																																																						
合計	6,384	6,766	6,868	6,673	6,195																																																																						

頁	該当箇所	修正内容							
		誤		正					
資料編 255 頁	詳細データ③ 確定拠出年金 の規約承認 数・加入者数 の推移								
		年度	企業型承認件数	企業型加入者数(千人)	個人型加入者数(人)	年度	企業型承認件数	企業型加入者数(千人)	個人型加入者数(人)
		2009(平成21)年度	3,301	3,404	111,056	2009(平成21)年度	3,301	3,404	112,063

頁	該当箇所	修正内容	
		誤	正
本文 242頁	13～14 行目	一方、休業4日以上 の死傷者数は131,156人 (前年比5,545人(4.4%) 減)と前年より増加した。	一方、休業4日以上 の死傷者数は131,156人 (前年比5,545人(4.4%) 増)と前年より増加した。
本文 308頁	図表 5-1-7 その他	<div>その他</div> <ul style="list-style-type: none">・施行日……令和元年10月1日・手続 ……本人の認定請求により受給権発生。日本年金機構が支払事務を実施。年金と同様に2か月毎に支給。・費用 ……全額国庫負担（令和3年度予算額：5,220億円）・件数（令和2年3月）……老齢給付金463.0万件、補足的 老齢給付金91.5万件、障害給付金19.4万件、遺族給付金8.0万件・その他……各給付金は非課税。	<div>その他</div> <ul style="list-style-type: none">・施行日……令和元年10月1日・手続 ……本人の認定請求により受給権発生。日本年金機構が支払事務を実施。年金と同様に2か月毎に支給。・費用 ……全額国庫負担（令和3年度予算額：5,220億円）・件数（令和2年3月）……老齢給付金463.0万件、補足的 老齢給付金91.5万件、障害給付金193.9万件、遺族給付金8.0万件・その他……各給付金は非課税。

頁	該当箇所	修正内容																																																																																																									
		誤	正																																																																																																								
本文 422頁	21～22行目	眼球（角膜）は466名の提供者から915件の移植が行われた。	眼球（角膜）は466名の提供者から917件の移植が行われた。																																																																																																								
資料編 87頁	詳細データ① 臓器移植の 累計件数	<div>詳細データ① 臓器移植の累計件数</div> <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">臓器提供者数</th><th colspan="2">移植実施件数</th><th rowspan="2">移植希望登録者数</th></tr><tr><th></th><th>うち脳死下</th><th></th><th>うち脳死下</th></tr><tr><td>心臓</td><td>580名</td><td>580名</td><td>579件</td><td>579件</td><td>918名</td></tr><tr><td>肺</td><td>493名</td><td>493名</td><td>601件</td><td>601件</td><td>478名</td></tr><tr><td>肝臓</td><td>621名</td><td>621名</td><td>666件</td><td>666件</td><td>337名</td></tr><tr><td>腎臓</td><td>2,154名</td><td>685名</td><td>4,032件</td><td>1,345件</td><td>13,335名</td></tr><tr><td>膵臓</td><td>445名</td><td>441名</td><td>441件</td><td>438件</td><td>197名</td></tr><tr><td>小腸</td><td>23名</td><td>23名</td><td>23件</td><td>23件</td><td>7 名</td></tr><tr><td>眼球（角膜）</td><td>21,160名</td><td>312名</td><td>34,389件</td><td>591件</td><td>1,716名</td></tr></table>		臓器提供者数		移植実施件数		移植希望登録者数		うち脳死下		うち脳死下	心臓	580名	580名	579件	579件	918名	肺	493名	493名	601件	601件	478名	肝臓	621名	621名	666件	666件	337名	腎臓	2,154名	685名	4,032件	1,345件	13,335名	膵臓	445名	441名	441件	438件	197名	小腸	23名	23名	23件	23件	7 名	眼球（角膜）	21,160名	312名	34,389件	591件	1,716名	<div>詳細データ① 臓器移植の累計件数</div> <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">臓器提供者数</th><th colspan="2">移植実施件数</th><th rowspan="2">移植希望登録者数</th></tr><tr><th></th><th>うち脳死下</th><th></th><th>うち脳死下</th></tr><tr><td>心臓</td><td>580名</td><td>580名</td><td>579件</td><td>579件</td><td>918名</td></tr><tr><td>肺</td><td>493名</td><td>493名</td><td>601件</td><td>601件</td><td>478名</td></tr><tr><td>肝臓</td><td>621名</td><td>621名</td><td>666件</td><td>666件</td><td>337名</td></tr><tr><td>腎臓</td><td>2,154名</td><td>685名</td><td>4,032件</td><td>1,345件</td><td>13,335名</td></tr><tr><td>膵臓</td><td>445名</td><td>441名</td><td>441件</td><td>438件</td><td>197名</td></tr><tr><td>小腸</td><td>23名</td><td>23名</td><td>23件</td><td>23件</td><td>7 名</td></tr><tr><td>眼球（角膜）</td><td>21,161名</td><td>312名</td><td>34,393件</td><td>591件</td><td>1,716名</td></tr></table>		臓器提供者数		移植実施件数		移植希望登録者数		うち脳死下		うち脳死下	心臓	580名	580名	579件	579件	918名	肺	493名	493名	601件	601件	478名	肝臓	621名	621名	666件	666件	337名	腎臓	2,154名	685名	4,032件	1,345件	13,335名	膵臓	445名	441名	441件	438件	197名	小腸	23名	23名	23件	23件	7 名	眼球（角膜）	21,161名	312名	34,393件	591件	1,716名
				臓器提供者数		移植実施件数			移植希望登録者数																																																																																																		
	うち脳死下			うち脳死下																																																																																																							
心臓	580名	580名	579件	579件	918名																																																																																																						
肺	493名	493名	601件	601件	478名																																																																																																						
肝臓	621名	621名	666件	666件	337名																																																																																																						
腎臓	2,154名	685名	4,032件	1,345件	13,335名																																																																																																						
膵臓	445名	441名	441件	438件	197名																																																																																																						
小腸	23名	23名	23件	23件	7 名																																																																																																						
眼球（角膜）	21,160名	312名	34,389件	591件	1,716名																																																																																																						
	臓器提供者数		移植実施件数		移植希望登録者数																																																																																																						
		うち脳死下		うち脳死下																																																																																																							
心臓	580名	580名	579件	579件	918名																																																																																																						
肺	493名	493名	601件	601件	478名																																																																																																						
肝臓	621名	621名	666件	666件	337名																																																																																																						
腎臓	2,154名	685名	4,032件	1,345件	13,335名																																																																																																						
膵臓	445名	441名	441件	438件	197名																																																																																																						
小腸	23名	23名	23件	23件	7 名																																																																																																						
眼球（角膜）	21,161名	312名	34,393件	591件	1,716名																																																																																																						
資料編 102頁	食品安全 行政の展開	※検査所（食品衛生監視員含む）の数は令和3年4月1日時点 地方厚生局（食品衛生監視員含む）、都道府県、保健所設置市、特別区および保健所の数は令和3年4月1日時点 食品衛生監視員（検査所および地方厚生局を除く）および食品等事業者の施設数は令和元年3月31日時点	※検査所（食品衛生監視員含む）の数は令和3年4月1日時点 地方厚生局（食品衛生監視員含む）、都道府県、保健所設置市、特別区および保健所の数は令和3年4月1日時点 食品衛生監視員（検査所および地方厚生局を除く）および食品等事業者の施設数は令和2年3月31日時点																																																																																																								

頁	該当箇所	修正内容	
		誤	正
本文 269頁	16~19行目	また、新規求職申込件数は223,229件（前年度比5.7%増）であった。このうち、身体障害者は62,024件（前年度比1.3%増）、知的障害者は36,853件（前年度比2.9%増）、精神障害者は107,495件（前年度比6.1%増）、その他の障害者は16,857件（前年度比30.8%増）であった。	また、新規求職申込件数は223,223件（前年度比5.7%増）であった。このうち、身体障害者は62,022件（前年度比1.3%増）、知的障害者は36,852件（前年度比2.9%増）、精神障害者は107,493件（前年度比6.1%増）、その他の障害者は16,856件（前年度比30.8%増）であった。